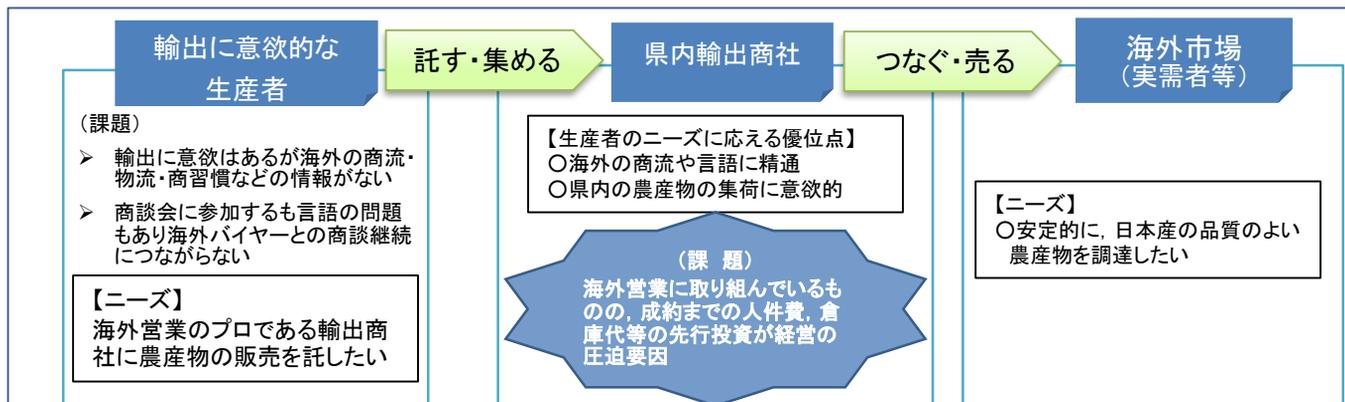


県産農産物の輸出における現状と課題

- 1 県産農産物（畜産物を除く）の2019年度輸出額は**8.5億円**と**農林水産物全体の3.8%**。うちお茶が4.6億円、さつまいもなどの青果物が3.9億円。ビジョンの輸出目標額22億円（25年度）の達成に向け、**農産物の輸出加速化に向けた対策が必要**。
- 2 人口減少や消費者の高齢化の進展により、国内の食市場等が減少していく中で、**県外産地に負けない輸出に向けた生産基盤づくりと海外への安定的な販路の確保が必要**。



生産者（産地）と連携して意欲的に販路開拓に取り組む県内輸出商社の海外での営業活動強化が急務

県が「県内輸出商社の営業力強化」を支援

支援内容

- ☑ 海外での営業活動
例) 現地言語と商流に対応した海外でのPR・商談活動等
- ☑ 県内産地への海外バイヤー招へい
- ☑ 効率的な輸送ルート構築のためのトライアル輸送
例) 県内港等からの低コスト輸送に向けた集荷費及び海外輸送費(Ship&Air活用等)

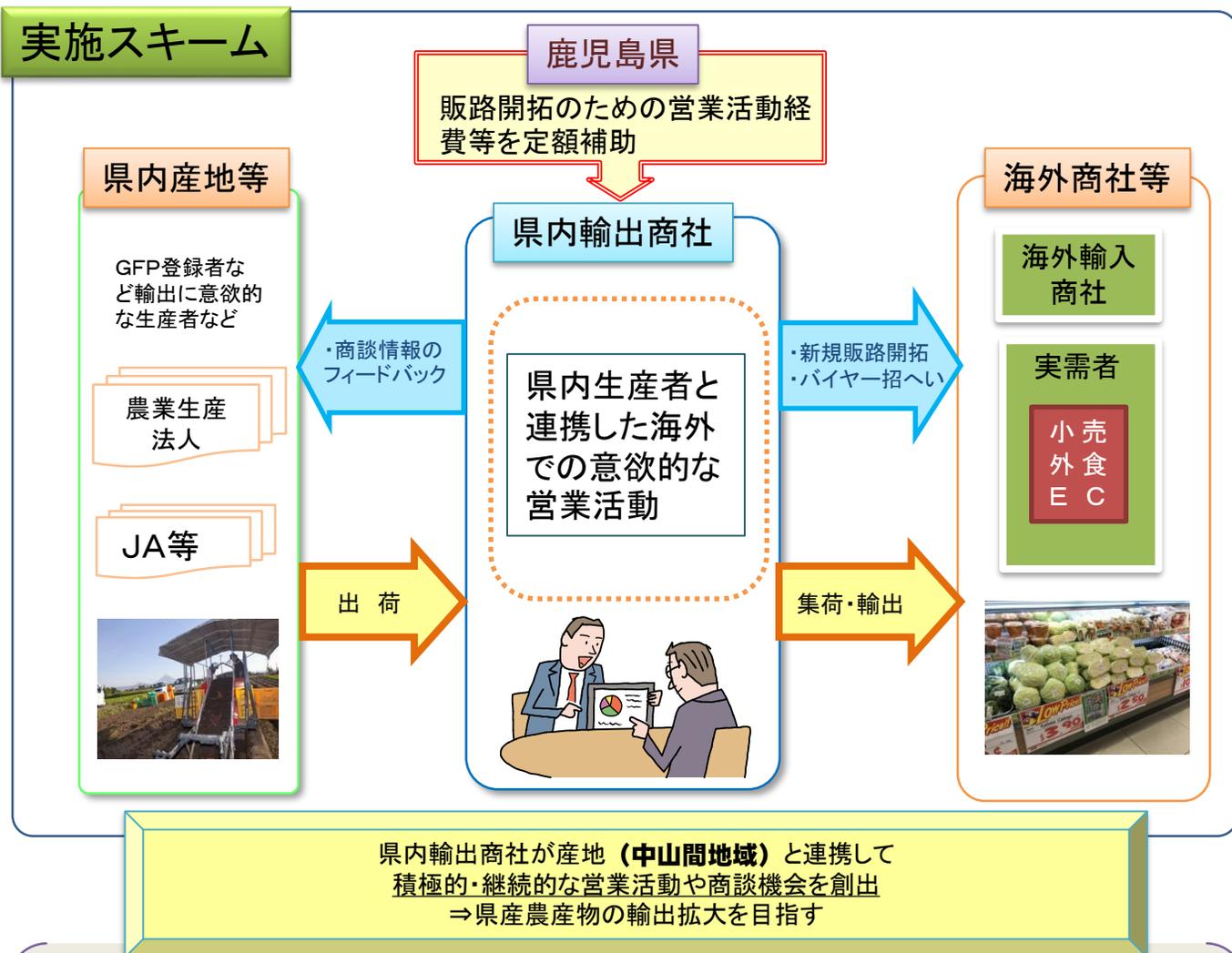


産地と県内輸出商社が連携し継続的な取組を展開

事業効果

- 【産地】**
- ✓ 輸出のノウハウがなくても小ロットからチャレンジでき新たな取引先が確立
- 【商社】**
- ✓ 海外での新たな販路開拓に向けた営業活動に意欲的にチャレンジ
 - ✓ 海外商社等との信頼関係が構築され、継続的・安定的な輸出につながる

実施スキーム



1 対象事業者

県内の輸出商社(輸出に取り組む事業者)

2 対象事業

県内の輸出商社が県産農産物等の新規販路開拓(新規産地又は新規品目若しくは新規販路先との取引開始)に資する取組

- (1) 海外への営業活動
- (2) 県内産地への海外バイヤー招へい
- (3) 効率的な輸送ルート構築のためのトライアル輸送

3 補助率等

定額(予算の範囲内とし、計画内容によっては補助対象外となる場合もあります。)

4 対象経費(例)

- (1) 海外営業活動に要する経費(旅費、現地人件費、使用料、備品費、役務費等)
- (2) 海外バイヤー等の県内産地訪問に要する経費(旅費、使用料、役務費等)
- (3) 新たに県内拠点から現地拠点へ輸送ルートを構築する際のトライアル輸送に要する経費(倉庫使用料、輸送費等)